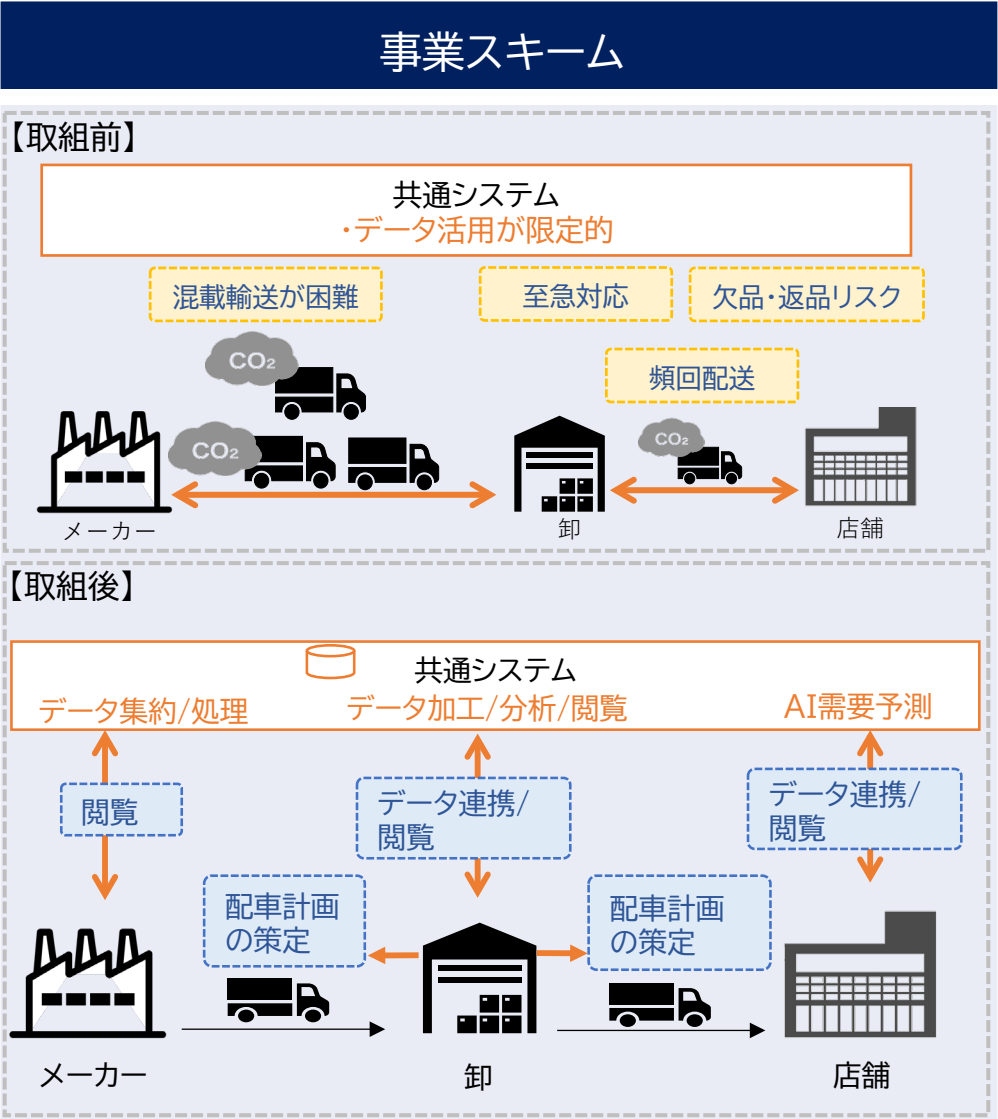


4. <事例2> 市中在庫の可視化を通じた医薬品物流の効率化による省エネ事業 ／株式会社コラボプレイス

事業概要

- 医療用医薬品の市中物流データ(仕入・在庫・販売)の可視化に着目し、データの集約から加工、処理、分析
- AI需要予測モデル構築を行い、製造・流通・小売全体で可視化・共有化する



事業者情報	業界(輸送品目)	医薬品(医療用医薬品)
	申請者 (従業員数)	代表:システム(約590名) 共同:医薬品製造(約21,294名) 輸送事業者(約12,923名) ドラッグストア(約11,820名)
	導入システム 及び機器	共通システム: 共通データAI需要予測システム 輸送効率化機器: 市中在庫可視化システム
	従前の 物流課題	安定供給最優先、品質管理上の他 業界商品との混載輸送等が困難、 といった医療品関連商品特有の課 題が存在。また、卸と店舗間の頻回 配送や至急配送、欠品、返品など物 流の非効率化の改善が十分進んで いない。
	事業費※	補助対象経費:243,680,320円 補助金の額: 121,840,160円
	エネルギー 消費削減量(率)	1.245MJ/t・km (10.1%)

※事業費は交付決定額